



## M32C

Digital Rack Mixer for Installed and Live Sound Applications with 40 Input Channels and 25 Mix Buses

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

**限定保証**

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

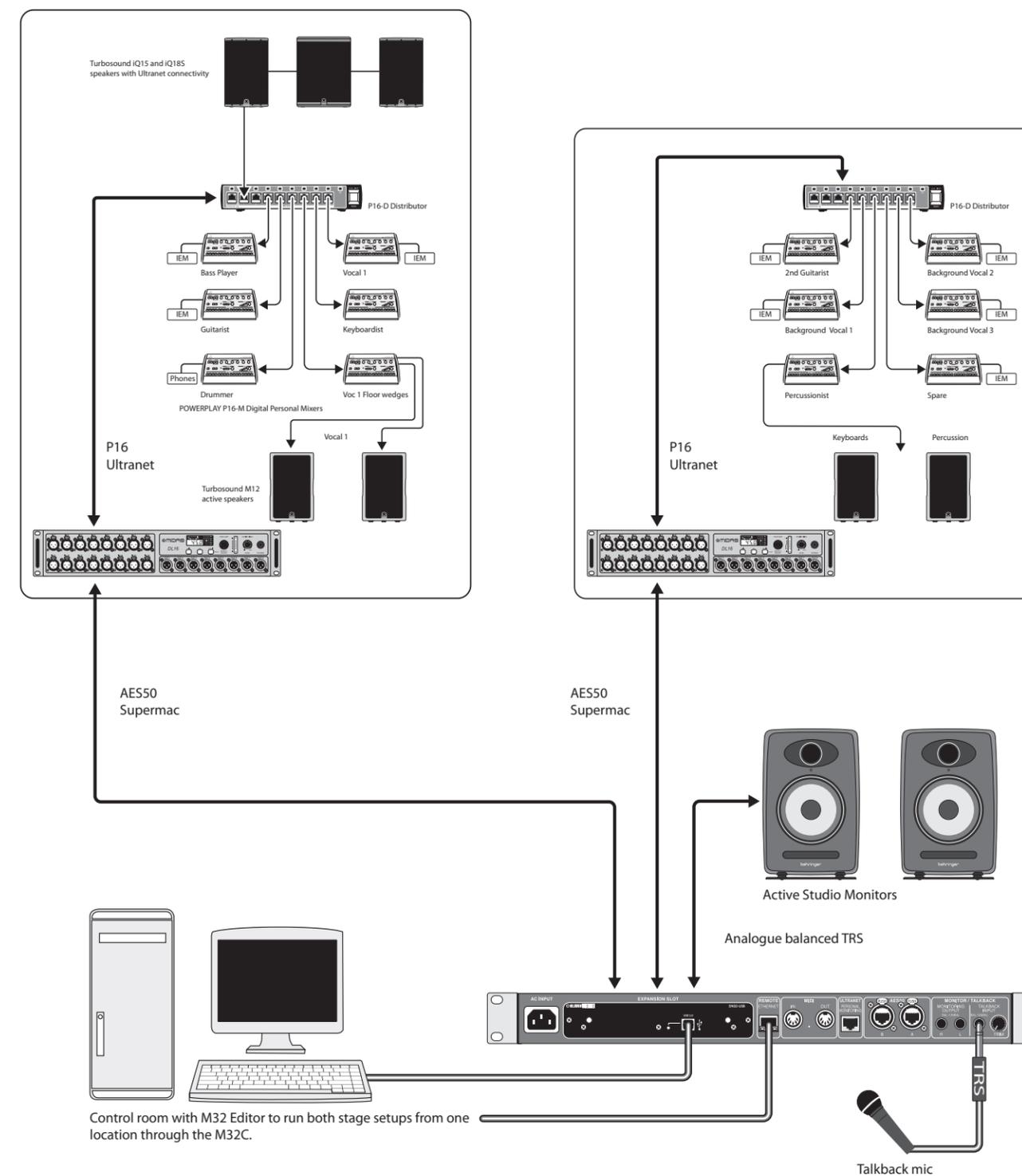
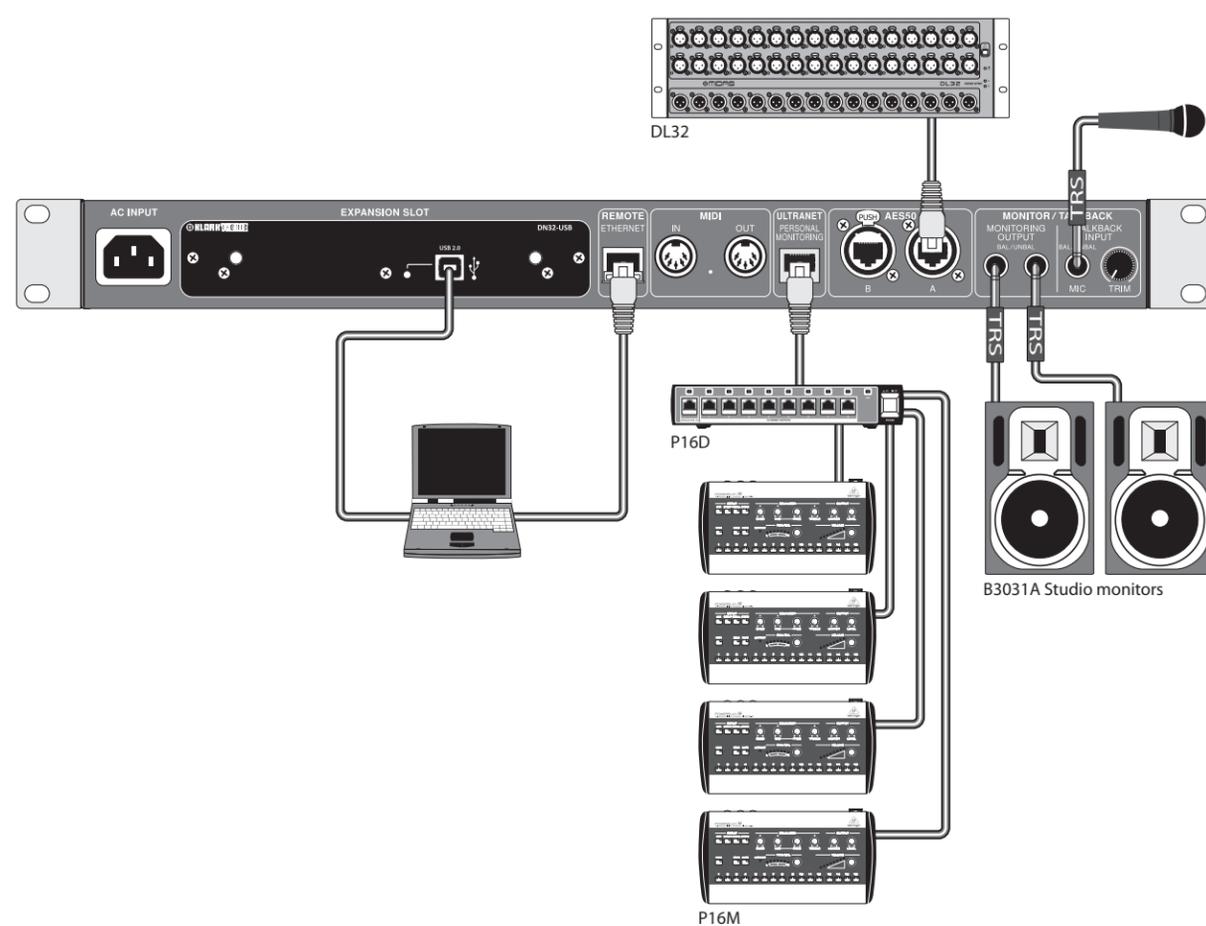
# M32C フックアップ

JP

## ステップ 1: フックアップ

基本的な接続

M32C、DL16 スネークおよび P16 パーソナルモニターシステムによるマルチステージセットアップ System



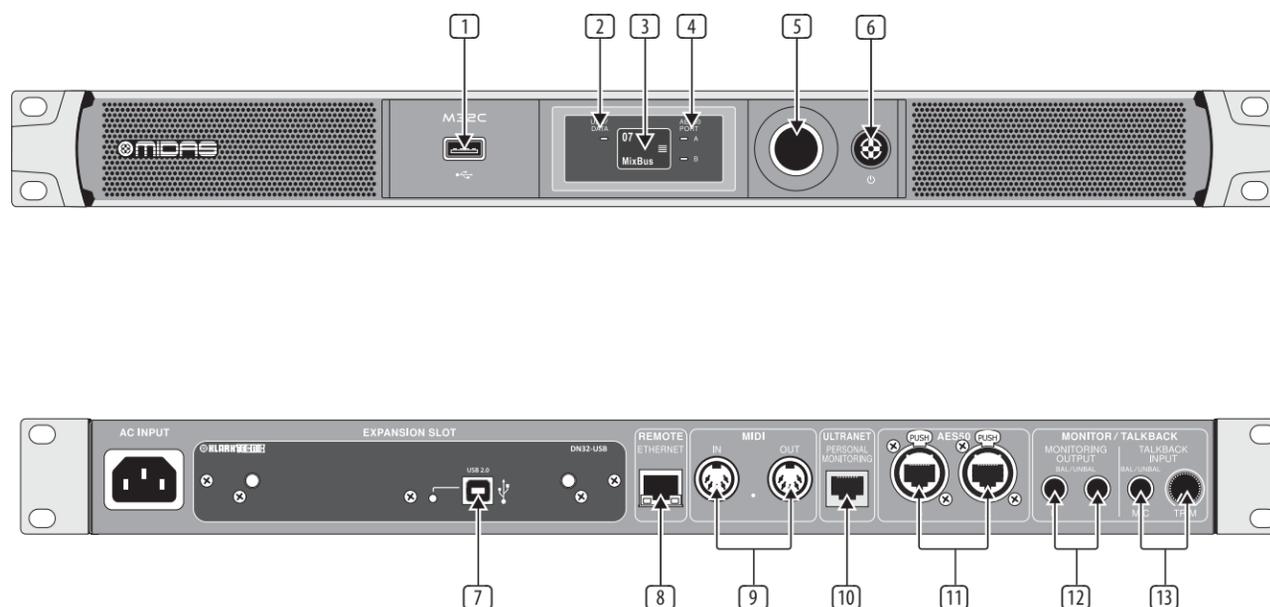
M32C と DL16 / DL32 ステージボックス間のすべての AES50 接続のケーブル接続:

- シールド CAT-5e ケーブル、Ethercon 終端ケーブル端 (推奨)
- 最大ケーブル長 100 メートル (330 フィート)

# M32C コントロール

JP

## ステップ 2: コントロール



- ① **USB** 入力により、ファームウェアの更新、シーンとショーファイルのロード/保存、および WAV ファイルの再生または記録のための USB フラッシュドライブの接続が可能になります。
- ② **DATA/USB LED** フラッシュドライブが接続され、データに正常にアクセスされたことを示すために点灯します。
- ③ **DISPLAY** 電源投入後の M32C モデル名を表示し、シーンやセットアップメニューの編集時に関連情報を表示します。
- ④ **NETWORK LINK LEDs** は適切な同期を示すために緑色に点灯し、同期エラーを示すために赤色に点灯し、接続が存在しない場合は消灯したままになります。
- ⑤ **SELECT** ノブは表示メニューをナビゲートし、セットアップパラメータを編集します。詳細については、「ノブ関数の選択」セクションを参照してください。
- ⑥ **POWER** ボタンはユニットのオンとオフを切り替えます。
- ⑦ **DN32-USB** インターフェイスカードを使用すると、最大 32 チャンネルの双方向オーディオをコンピュータとの間で送受信できます。
- ⑧ **ETHERNET** コネクタにより、M32C の完全な OSC ベースのリモートコントロールが可能になります。
- ⑨ **MIDI IN/OUT** ユニットが標準の 5 ピン DIN ケーブルを介して MIDI コマンドを送受信できるようにします。
- ⑩ **ULTRANET** コネクタは、16 チャンネルのオーディオを P16 モニタリングシステムに送信します。
- ⑪ **AES50 A** および **B** コネクタを使用すると、96 チャンネルの双方向オーディオを DL16 デジタルスネークまたはその他の M32 ファミリ製品に接続できます。M32 ユニットと DL16 ユニット間の AES50 接続には、常にシールド CAT-5e ケーブルを使用する必要があります。
- ⑫ **MONITORING OUTPUT** ジャックを使用すると、バランス型またはアンバランス型の 1/4" ケーブルを介してアクティブモニタースピーカーを接続できます。
- ⑬ **TALKBACK** 入力は 1/4" TRS ジャックを介してダイナミックマイクを受け入れます。隣接する TRIM ノブでゲインを調整します。

# M32C ノブ機能の選択

## JP ステップ 3: ノブ機能を選択する

SELECT ノブは、M32C でいくつかの機能を果たします。次の表に、使用可能な各シナリオでの SELECT ノブの動作を示します。

| ノブ機能を選択する                                    | 機能説明  |
|--|---|
| <b>シーンセレクトモード (SELECT つまみを 2 秒間押し続ける)</b>    |   |
| 表示   | >太字の「シーン」<br>>現在のシーン番号<br>>GO にロードされる次のシーン番号と名前 (小さい)   |
| 短押し  | 選択したシーンを M32C 内部メモリ「GO」から呼び出します<br>>動作はシーンの設定/設定によって異なります (編集ソフトウェアを介してリモート制御されます)<br>>シーン金庫はリモートでのみ設定/リセットできます<br>>USB ドライブからのシーン/ショーにはリモートでのみアクセスできます<br>>セットアップモードを使用して、接続された USB ドライブから内部メモリに完全なショーをロードできます |
| 回転する   | 次のシーンを事前選択します   |
| <b>セットアップモード (SELECT ノブを押してメニューにアクセスします)</b> |   |
| 回転して押す                                       | セットアップページを選択して入力します。<br>1. ロードショー<br>2. コントラスト<br>3. LED<br>4. クロックレート<br>5. 同期<br>6. IP アドレス<br>7. IP (サブネット) マスク<br>8. IP ゲートウェイ<br>9. ロック  |
| 1. ロードショー                                    | 接続された USB ドライブのルートディレクトリから show をロードします<br>>3 行を表示:<br>-ロードショー<br>-出口<br>-ファイルを表示<br>>終了するとセットアップモードのルートレベルに戻ります<br>>時計回りに回して USB ルートディレクトリにあるショーファイルのリストをスクロールし、押して選択したショーをロードし、セットアップモードのルートレベルに戻ります          |
| 2. コントラスト                                    | LCD コントラスト<br>>回転して 0~100 を調整します<br>>を押して確認し、終了します  |
| 3. LEDs                                      | LED の明るさ<br>>回転して 0~100 を調整します<br>>を押して確認し、終了します  |
| 4. クロックレート                                   | 内部サンプリングクロックレートを選択します<br>>回転して 44.1 または 48 kHz を調整します (変更するには M32C を再起動する必要があります)<br>>を押して確認し、終了します   |
| 5. 同期  | クロック同期ソースを選択します<br>>回転して、INT (内部)、AESS0 (ポート) A、または AESS0 (ポート) B を選択します<br>>を押して確認し、終了します  |

| ノブ機能を選択する    | 機能説明  |
|--------------|---|
| 6. IP アドレス   | M32C の IP アドレスを選択します<br>>回転して <b>最初</b> のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>2</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>3</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>4</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認し、終了します     |
| 7. IP マスク    | M32C の IP サブネットマスクを選択します<br>>回転して <b>最初</b> のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>2</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>3</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>4</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認し、終了します |
| 8. IP ゲートウェイ | M32C の IP ゲートウェイを選択します<br>>回転して <b>最初</b> のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>2</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>3</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認します<br>>回転して <b>4</b> 番目のトリプレット (0-255) を調整します<br>>を押して確認し、終了します   |
| 9. ロック       | M32C をロックします<br>>「ロックキャンセル」を表示<br>>を押してロックをキャンセルします<br>>時計回りに回転すると、ディスプレイが緑色から赤色のバックライトに変わり、「ロック済み」と表示されます。<br>>ロックモードを終了するには、SELECTノブを 5 秒間押し続けます  |

# M32C はじめに

## iPad用M32MIXアプリ\*

M32C コンソールの多くの機能は、iPad 専用のアプリでリモート制御できます。アプリのダウンロード、セットアップ、操作の詳細は、M32C 製品ページからダウンロードできる別のユーザーマニュアルに含まれています。

アプリのユーザーインターフェイスは、iPad デバイスのタッチスクリーンの性質に合わせて最適化されており、コンソールの最も重要なリモート機能のみに重点を置いています。このアプリを使用すると、ミュージシャンと対話しながらステージからモニターミックスを調整したり、オーディエンスとまったく同じようにミックスを聞きながら、オーディエンスからフロントオブハウスミックスを調整したりすることができます。

## M32 EDITOR for Windows\* / OS X\* / Linux\*

また、イーサネットを介した M32C の完全な編集制御を可能にする、ホストコンピューター上で実行される個別のリモートエディターも提供されます。リモートエディタのダウンロード、セットアップ、および操作の詳細は、M32C 製品ページからダウンロードできる別のユーザーマニュアルに含まれています。詳細については、midasconsoles.comをご覧ください。

ヒント: M32C リモート通信は OSC ベース(オープンサウンドコントロール)であり、開発者が独自の制御ソフトウェアを設計できるように、Web サイトでプロトコルを共有します。OSCプロトコルの詳細については、midasconsoles.com にご注目ください。

## DN32-USB 拡張カード

DN32-USB カードを使用すると、接続されているコンピューターとの間で最大 32 チャンネルを送信できます。ミキサーをコンピューターに接続する前に、midasconsoles.com からドライバーとクイックスタートガイドをダウンロードしてください。このカードは CoreAudio と互換性があるため、ドライバーなしで AppleInc. の OS X オペレーティングシステムソフトウェアを搭載したコンピューターで動作します。

ファームウェアは、次の手順を実行することで簡単に更新できます。

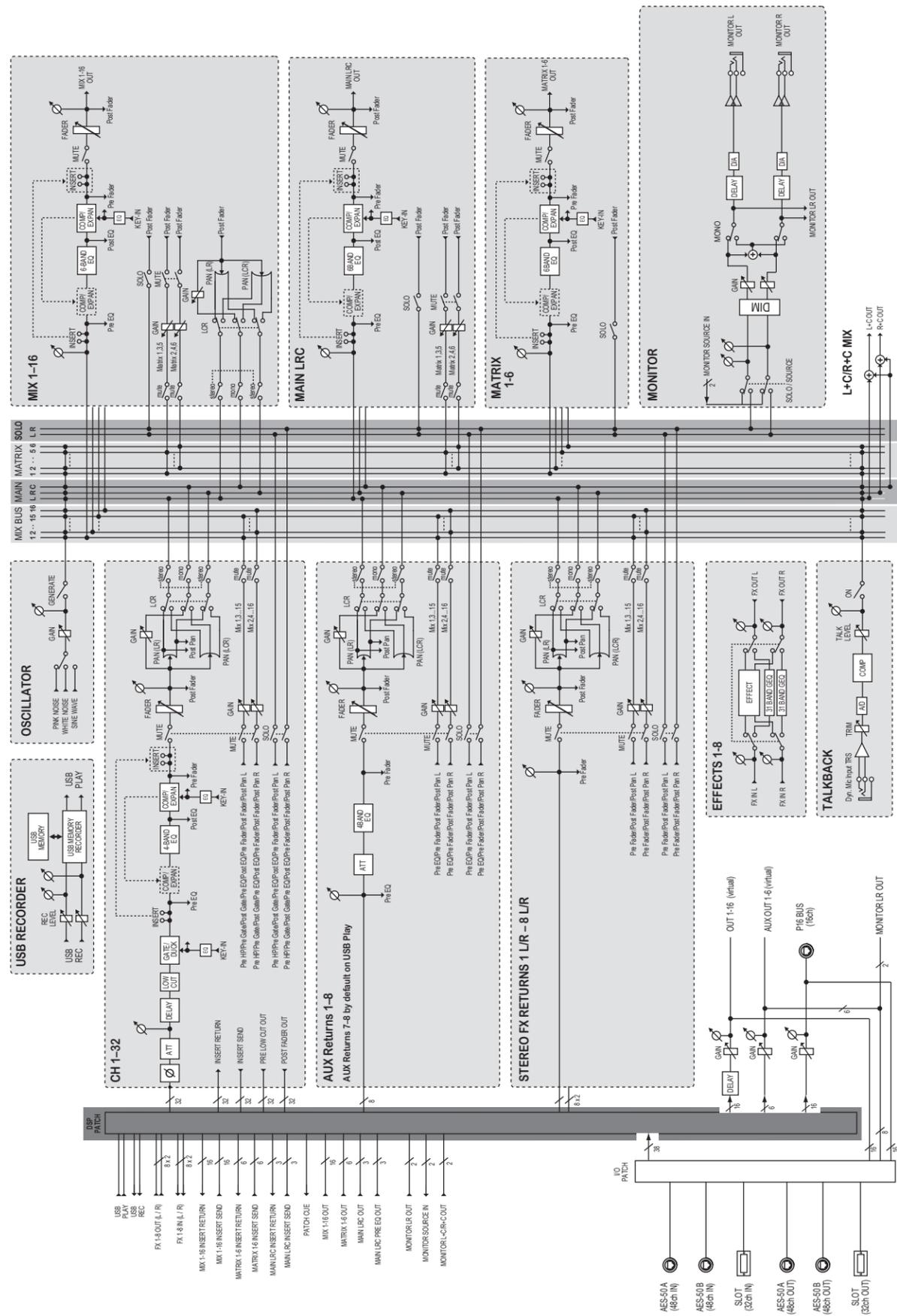
- M32C 製品ページから USB サムドライブのルートレベルに新しいコンソールファームウェアをダウンロードします
- コンソールの電源がオフの状態 で、USB サムドライブをフロントパネルの USB コネクタに接続します
- コンソールの電源を入れている間、SELECT ノブを押したままにします。起動中、M32C は完全自動のファームウェアアップデートを実行します。これには通常の起動シーケンスよりも 2-3 分長くかかります。

USBドライブに利用可能な更新ファイルがない場合、またはファイルが破損している場合、更新モードはアクティブなままであり、M32C が定期的に起動するのを防ぎます。SELECT ノブを押さずにコンソールのスイッチをオフにしてからオンに戻し、既存のファームウェアでコンソールを起動します。

注意: M32C キャビネットの側面にある通気口をふさがないでください。特に M32C をロードケースに取り付けるときは、ある程度の空気の流れを確保するのに十分なスペースがあることを確認してください。

\* iPad および OS X は、Apple Inc. の商標です。Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

# M32C ブロック図



# 技術仕様

| 処理   |  |
|--|--|
| 処理チャンネルの数  | 32 入力チャンネル、8 aux チャンネル、8 FX リターンチャンネル、16 aux バス、6 マトリックス、メイン LRC |
| 内部エフェクトエンジン、真のステレオ/モノラル                            | 8/16   |
| 内部トータルリコールシーン (プリアンプとフェーダーを含む)                     | 100  |
| 信号処理   | 40 ビット浮動小数点  |
| ネットワーク I/O 遅延 (ステージボックス入力 > コンソール処理* > ステージボックス出力) | 1.1 ミリ秒  |
| コネクタ   |  |
| トークバックマイク入力、TRS                                    | 1 つの外部 (ファンタム電源なし)   |
| モニタリング出力 ¼" TRS バランス                               | 2  |
| AES50 ポート、SuperMAC                                 | 2  |
| 拡張カードスロット  | 32 チャンネルオーディオ入出力、さまざまな規格   |
| P-16 コネクタ、Ultranet (電源なし)                          | 1  |
| MIDI 入力/出力   | 1/1  |
| イーサネット、RJ45、背面パネル、リモコン用                            | 1  |
| USB タイプ A、フロントパネル、オーディオおよびデータのエキスポート/インポート用        | 1  |
| トークバック入力   |  |
| 最大ゲイン  | +50 dB   |
| ユニティゲインでの最大入力レベル                                   | +8 dBu   |
| 入力インピーダンス  | 2 kΩ   |
| モニター出力   |  |
| 最大出力レベル  | +21 dBu  |
| 出力インピーダンス  | 50 Ω   |
| 周波数応答、+0 ~ -1 dB                                   | 20 Hz ~ 20 kHz   |
| 出力ノイズ、22 Hz ~ 22 kHz                               | -83 dBu、重み付けなし   |
| 歪み、0 dBu 出力レベル、1 kHz                               | 0.02%  |
| 指標   |  |
| 液晶画面   | 128 x 64、RGB カラーバックライト付き LCD                                     |
| ステータス LED  | AES50 ポート A/B ステータス、電源 LED、すべてミュートボタン                            |
| 力  |  |
| スイッチモード電源  | オートレンジ 100 - 240V (50/60 Hz)                                     |
| 消費電力   | 40 W   |
| 物理的  |  |
| 標準動作温度範囲   | 5°C - 40°C (41°F - 104°F)  |
| 寸法   | 483 x 300 x 50 mm (19 x 11.8 x 2")                               |
| 重量   | 3.5 kg (7.7 lbs)   |

\*挿入効果とライン遅延を除く、すべてのチャンネルとバスの処理を含む

## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

